

愛知県

みよし市

三好中学校区

学校名 在籍者数 学級数

三好中学校	560名 18(3)	中部小学校	493名 18(2)
		天王小学校	536名 20(2)
		三吉小学校	397名 17(3)

※学級数の()は、特別支援学級数を内数として記入

第1回意識調査 (H26.3実施) 結果

三好中学校

連携小学校

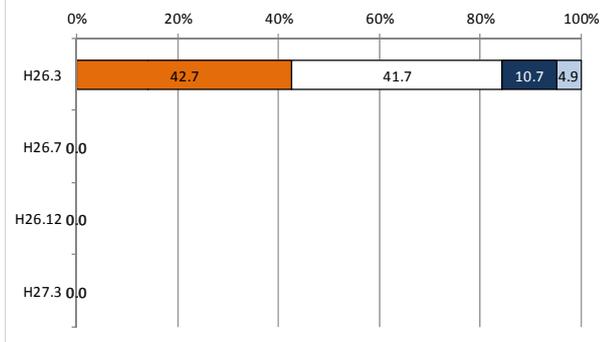
当てはまる

どちらかといえば当てはまる

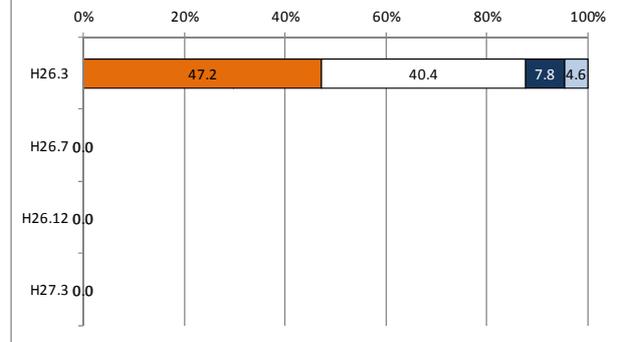
どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

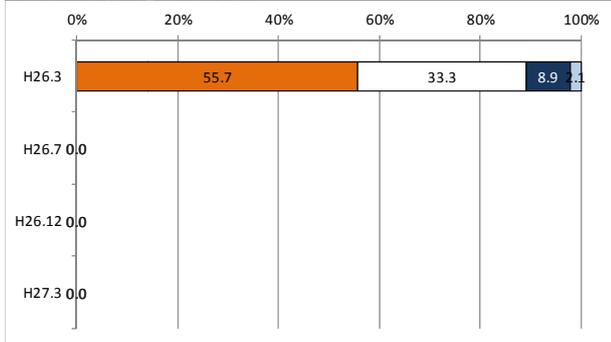
ア 学校が楽しい



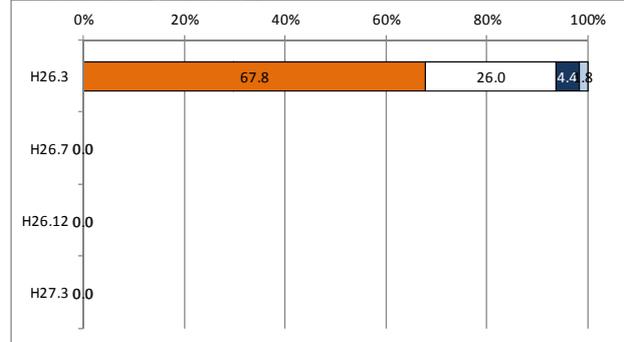
ア 学校が楽しい



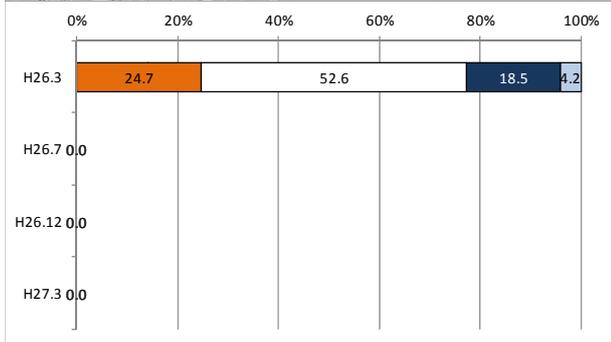
イ みんなで何かをするのは楽しい



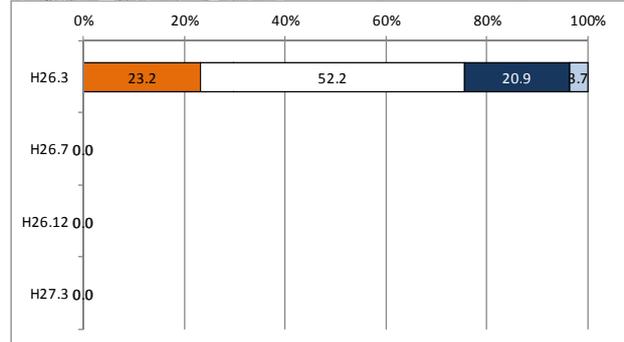
イ みんなで何かをするのは楽しい



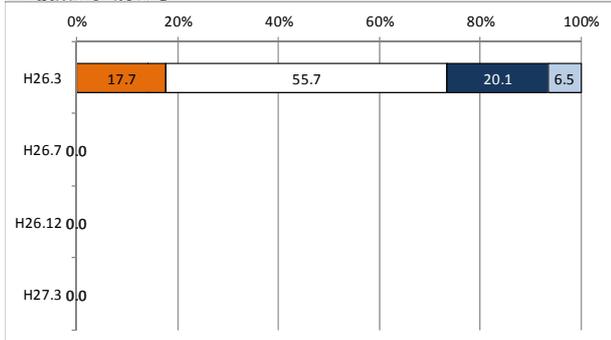
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



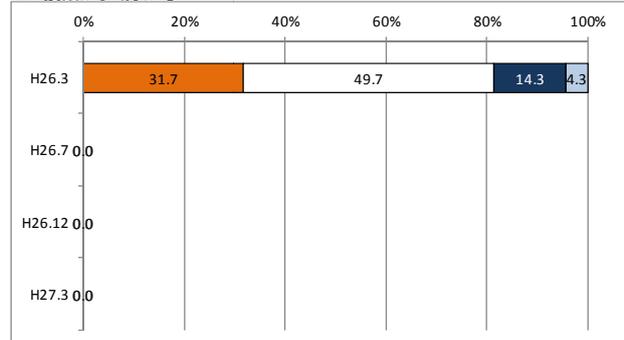
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



エ 授業がよく分かる



エ 授業がよく分かる



第1回意識調査で「あてはまる」(ア～エ)「まったくない」(オ～ク)と回答した割合

…ア～エの値（割合）が全国（18地域）平均を下回る箇所

● 中学2～小学6年生（現中学3～1年生）

	中2	中1	小6	小6		
				三吉小	中部小	天王小
回答者数(N)	(193)	(191)	(212)	(60)	(72)	(80)
ア 学校が楽しい	44	42	49	42	54	50
イ みんなで何かするのは楽しい	54	58	69	73	74	61
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	26	23	19	20	18	18
エ 授業がよくわかる	19	16	30	28	33	28
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	80	70	64	47	58	81
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	75	66	62	37	67	76
キ 叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	81	76	64	57	51	81
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	76	74	67	60	58	79

● 小学5年生（現小学6年生）

	小5			
	三吉小	中部小	天王小	
回答者数(N)	(211)	(54)	(74)	(83)
ア 学校が楽しい	43	39	46	42
イ みんなで何かするのは楽しい	65	78	64	58
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	20	19	23	18
エ 授業がよくわかる	27	33	22	27
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	59	59	47	70
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	52	59	43	55
キ 叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	70	74	64	74
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	68	76	62	67

● 小学4年生（現小学5年生）

	小4			
	三吉小	中部小	天王小	
回答者数(N)	(255)	(73)	(85)	(97)
ア 学校が楽しい	49	44	51	53
イ みんなで何かするのは楽しい	69	74	72	64
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	30	25	33	31
エ 授業がよくわかる	37	40	44	30
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	62	67	55	65
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	58	63	48	62
キ 叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	69	82	59	69
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	69	77	61	70

地域の特色・児童生徒の実態

地域の特色

みよし市は、愛知県三河西部の丘陵地に位置しており、古くから愛知用水の恵を受け、農業地域として発展してきた。近年では、トヨタ自動車など多くの企業を誘致して、工業の町ともなっている。三好中学校校区内では、このような産業様式の多様化に伴い、昔からの農家と新興住宅地、マンションや県営住宅などの集合住宅等、多様な環境が混在している。そこで生活する子どもたちの家庭環境も三世同居から核家族、また母子・父子家庭まで様々である。

児童生徒の実態

三好中学校区の児童生徒は、明るく、元気である。また、たいへん素直であるため、感情が表情や態度に表われやすく、行事や体験活動では気持ちのこもった活動につながり大いに盛り上がりを見せる。その反面、TPOや年齢に応じた言動がとれず、対人関係で誤解を招きトラブルになることも多い。学習に対しては、学習意欲や学習規律、家庭学習が低調で、十分に力が発揮できているとは言えない。

多くの家庭は学校に対して協力的で教育にも関心があるが、一徹しい経済状態や複雑な家庭環境も一因となって、子どもへのしつけや教育に関心を示さず、保護者としての責任を十分果たせない家庭も一部見られる。そのため、小学校から人と関わることを苦手としたり、自分勝手な行動をとってしまったりして、規律を乱す児童が見られる。このような子どもたちの一部には、中学校に入学すると、学校生活になじめず、学習についていけなかったり、欠席が長引いたりするなど、不適応を起こす生徒もいる。

実態把握

課題

目標

取組

点検

見直し

課題 「みんなで何かをするのは楽しい」一方で、小中にわたって「授業に主体的に取り組んでいる」意識が低い。

→「みんなで何かをするのは楽しい」の肯定的回答の多さに対して、「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」に否定的回答をした児童生徒が全校種にわたって多い。

目標 仲間と関わり合う場面を1時間の授業の中に設定し、主体的に学び合う児童生徒の育成を図る。

- 児童生徒が関わり合いながら学習し、主体的に学び続ける活動を目指し授業の構想を考える。授業の学習過程を工夫し児童生徒が互いに関わり合い、学びあえる場面を意図的に設定した学習活動を行う。
- 学校生活の中で、児童生徒一人一人が集団に貢献できる役割を考え、実行し、自己有用感を味わえる場面を設定する。
- 授業規律を含めた生活規律の確立に取り組み、児童生徒にとって快適で安心できる生活環境をつくり上げる。

取組	<ul style="list-style-type: none">・ペア・グループ学習をとおして、主体的に学ぶ児童生徒を育む。・児童会（生徒会）活動を軸として仲間と関わり合う楽しさを育む。
-----------	--

● 小・中共通の取組

- 「学び合い活動」を中心とした学習活動の推進
 - ・授業に子ども同士の関わり合いの場面をつくる。
 - ・「ペア・グループ学習」を授業内に設定し、主体的に学び合う児童生徒を育む。
 - ・小中合同の授業研究会、協議会
- 自己有用感を育むやりがい活動の実施
 - ・各行事や体験活動の児童生徒の参画と個人の役割の明確化
 - ・事前・事後学習の重視
 - ・活動に対する児童生徒の相互評価、教師・保護者・地域からの評価
- ライフスキルの習得
 - ・児童生徒の発達段階を考慮した全校共通の9年間に渡るカリキュラムを運用することで、発達段階に応じて身につけたい態度や能力を育成する。

● 中学校の取組

- 学びを通じた交流（学習交流会、中学校体験授業）
- 行事を通じた交流（小学校への宣伝、お知らせなど）
- 部活動を通じた交流（技術指導会、部活動公開）
- 生徒会・児童会合同組織の活動（募金活動、あいさつ運動、保健活動）

● 小学校の取組

- 3小学校の児童交流の場の設定（学校紹介）
- 行事を通じた交流（行事の宣伝や様子を紹介し合う）
- 部活動を通じた交流（合同練習会）

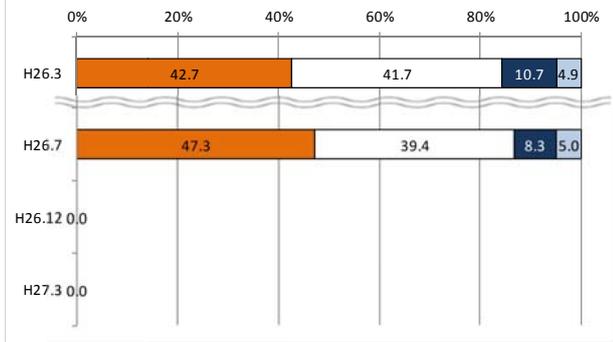
第2回意識調査 (H26.7実施) 結果

三好中学校

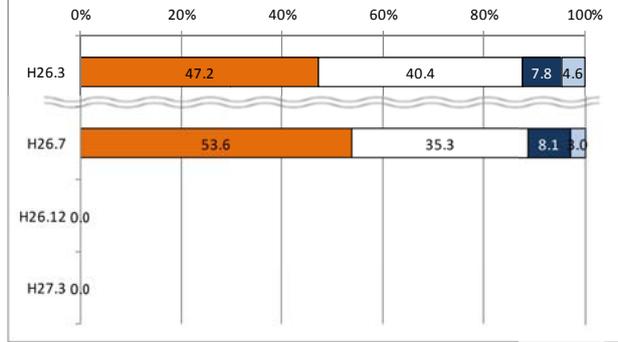
連携小学校

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

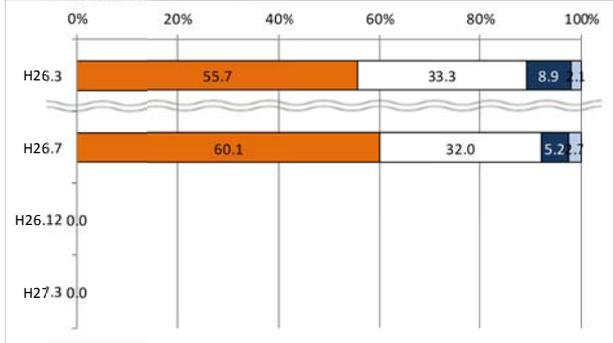
ア 学校が楽しい



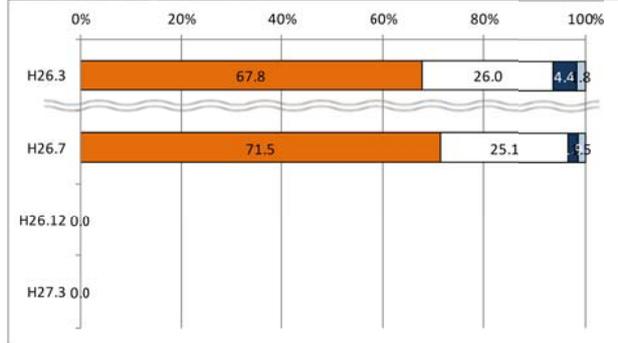
ア 学校が楽しい



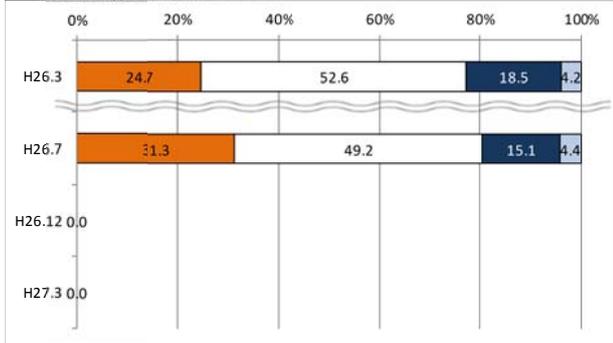
イ みんなで何かをするのは楽しい



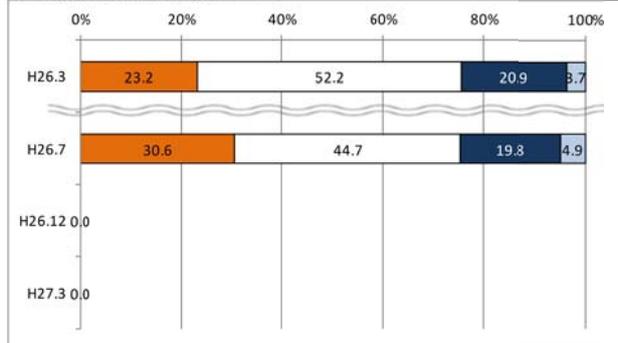
イ みんなで何かをするのは楽しい



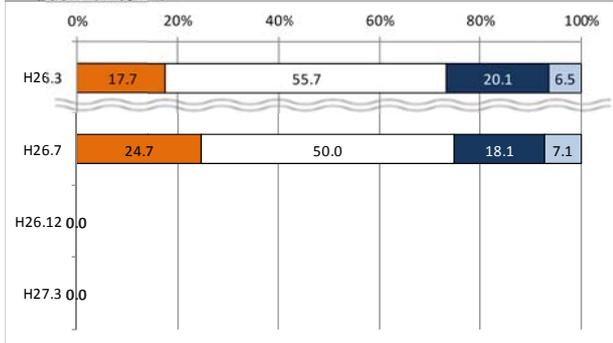
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



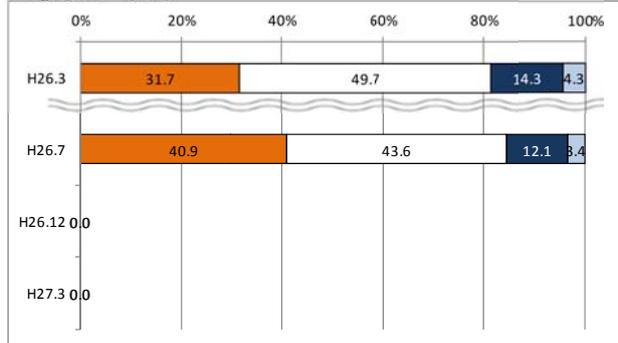
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



エ 授業がよく分かる



エ 授業がよく分かる



第2回意識調査で「あてはまる」(ア～エ)「まったくない」(オ～ク)と回答した割合

第1回意識調査との比較

※割合の増減をポイントで表示

■ ア～エで割合が減少した箇所

● 中学3～1年生

		中3	中2	中1
回答者数(N)		(180)	(171)	(167)
ア	学校が楽しい	45	36	61
イ	みんなで何かするのは楽しい	56	47	77
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	35	21	37
エ	授業がよくわかる	20	18	37
オ	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	86	70	75
カ	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	81	57	68
キ	叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	81	71	71
ク	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	83	77	76

中3	中2	中1
(180)	(171)	(167)
+2	-6	+12
+2	-11	+8
+9	-2	+19
+1	+2	+7
+6	0	+11
+6	-9	+6
0	-5	+7
+7	+3	+10

● 小学6年生

		小6			
回答者数(N)		(218)	(55)	(78)	(85)
		三吉小	中部小	天王小	
ア	学校が楽しい	49	51	54	44
イ	みんなで何かするのは楽しい	73	86	77	62
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	29	53	23	19
エ	授業がよくわかる	45	55	45	38
オ	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	74	76	72	74
カ	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	67	64	69	66
キ	叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	79	73	78	84
ク	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	79	75	85	77

		小6			
回答者数(N)		(218)	(55)	(78)	(85)
		三吉小	中部小	天王小	
		+6	+12	+8	+2
		+8	+8	+14	+4
		+9	+35	0	+1
		+19	+22	+23	+12
		+15	+17	+25	+4
		+15	+5	+26	+11
		+9	-1	+15	+10
		+12	-1	+23	+10

● 小学5年生

		小5			
回答者数(N)		(252)	(69)	(86)	(97)
		三吉小	中部小	天王小	
ア	学校が楽しい	58	57	52	63
イ	みんなで何かするのは楽しい	70	77	70	65
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	32	32	38	27
エ	授業がよくわかる	38	41	45	29
オ	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)	68	70	69	66
カ	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた	58	57	55	61
キ	叩いたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)	72	87	66	67
ク	暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた	77	89	71	73

		小5			
回答者数(N)		(252)	(69)	(86)	(97)
		三吉小	中部小	天王小	
		+9	+13	+1	+10
		+1	+3	-2	+2
		+2	+7	+5	-4
		+1	+1	+2	-1
		+6	+3	+14	+1
		+1	-6	+7	-1
		+3	+5	+7	-2
		+8	+12	+10	+3

学校全体・各学年教員集団による自己点検一覧

注：①～⑥の設問に相当するチェックシートの項目が「適切であった」「実施された」等肯定的回答の場合は「○」、「不適切であった」「実施されなかった」等の否定的回答の場合は「●」、いずれとも判断できない場合は「△」とした。
 ⑦については、想定外に改善「↑」、悪化「↓」した場合のみ矢印で示し、想定内の場合は空欄とした。
 なお、目標が「期待どおりに十分に達成された」と判断された学年は①～⑥はすべて空欄になっている。

	三好中			中部小			天王小			三吉小									
	全体	3年	2年	1年	全体	6年	5年	全体	6年	5年	全体	6年							5年
①課題は実態を踏まえていたか	○	○	●	○	○	●	●	○		○	○		○						
②目標は課題に対して適切なものだったか	○	○	●	●	○	●	●	○		○	○		○						
③目標の達成につながる行動計画だったか	○	○	○	△	△	△	●	○		○	●		○						
④目標を意識して取り組まれたか	●	●	○	●	●	●	●	○		○	○		●						
⑤具体的な動きや目当てが共有されていたか	●	●	●	●	●	●	●	○		○	●		●						
⑥児童生徒が主体的に取り組む工夫があったか	●	●	●	○	●	●	●	○		○	●		○						
⑦想定外の指標はあったか		↑								↓	↓								

各校事業担当者の自己点検

校数が多い場合、代表的・注目すべき内容を抽出

課題 「みんなで何かをするのは楽しい」一方で、小中にわたって「授業に主体的に取り組んでいる」意識が低い。

①課題は実態を踏まえていたか

三好中…生徒会活動や学校行事を通して、生徒の主体的な学校づくりを行ってきた。主体的に学校生活を送ろうとする姿と授業での様子の違いを改善する課題として、適切だと考える。

中部小…課題の設定は、適切であったと考える。「主体的に取り組んでいる」に否定的な回答をした児童が、やや多いことが気になる。主体的に授業に取り組む意欲を高めていきたい。

天王小…第1回の調査結果を踏まえて授業づくりを中心に力を入れてきたが、第2回の結果を見ると課題は実態を反映していたと思われる。

目標 仲間と関わり合う場面を1時間の授業の中に設定し、主体的に学び合う児童生徒の育成を図る。

②目標は課題に対して適切なものだったか

三好中…「学び合う」土台を高めるための自己有用感、規律の設定は概ね適切と思われる。一方、「主体的に学ぶ姿」や「規律」の共通認識が不十分だった。

中部小…児童の実態から考えると、授業での関わり合う場づくりや、児童が集団に貢献できる役割を与えることが必要だと考える。目標の設定の仕方は適切と思われる。

天王小…各担任が楽しい授業を実現するため、授業の中で他者との関わり合いを大切にしてきたが、もう少し「主体性」を前面に出すとよかった。

- 取組**
- ・ペア・グループ学習をとおして、主体的に学ぶ児童生徒を育む。
 - ・児童会（生徒会）活動を軸として仲間と関わり合う楽しさを育む。

③目標の達成につながる行動計画だったか

三好中…「共通認識」「情報共有」「組織連携」を高めるための部会や協議会の設定が不足していた。

「学び合い学習」の授業力不足と、全体での研修・協議会の設定が不足していた。

天王小…授業においてペアまたはグループによる話し合いを入れて、授業を進めた。授業を楽しんでいる児童は増えてきた。（5年生チェックシートより）

三吉小…小中連絡協議会が早めにあると、事業の内容を教職員で共有しやすかった。小学校間の児童の交流の計画があったが、自己有用感を高める視点からすると削減したい。

④目標を意識して取り組まれたか

三好中…研究趣旨の周知徹底に時間がかかりすぎ、指示通りにやってみる傾向が強かった。また、そのための全体会の設定が遅かった。

中部小…授業研究会の実施で教職員間の交流が始まったが、もっと情報交換ができるとよかった。小小連携の部活動交流の合同練習は実施できていない。

三吉小…取組に学年による若干のばらつきはあったが、ペア学習やグループ学習を入れて主体的に児童が動くこと、自己有用感を高めることは意識できるようになった。

⑤具体的な動きや目当てが共有されていたか

三好中…活動計画や内容の実施については、各部会が担当者を中心として行うことができたが、本質的なねらいに迫る取組としては、学び合いの授業力不足等、質の向上が求められる。

中部小…ペアやグループ活動を入れて、関わり合う場を設定する方向性は示したが、個々の取組によるところがあった。育てたい子どもの姿について共通理解をする必要性を感じた。

三吉小…ペア・グループ学習を授業に取り入れるなどの方向性は決まったが、育てたい子どもの姿が具体的になっておらず、教職員間で共有されているとは言えなかった。

⑥児童生徒が主体的に取り組む工夫はあったか

三好中…「講義型授業」からの脱却として、具体的に「ペア・グループ学習」を実施し、生徒同士が関わる機会を意図的に設定することはできた。

中部小…参加度を高め、関わり合いのある授業を心がけてきた。子どもたちの考える「主体的な」姿と教職員とのずれを感じ、子どもたちに具体的に示していこうという声が高まった。

三吉小…授業では、主体的に動く姿が具体的にっていたとは言えない。生活の場で子どもが主体的に動けるようにするため、1年生と6年生の交流を多く設定することができた。

⑦想定外の指標はあったか

中部小…6年生の「みんなで何かをするのは楽しい」の数値が思った以上によくなった。1年生とのペア活動が始まったことで、6年生としての自覚を感じられた効果ではないか。

天王小…5年生で「いやな思いをさせられた」の数値がよくなかった。クラス替えがあり、友達とのトラブルが増えたことが原因かもしれない。

三吉小…生活面の指標も上昇した。特に叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）児童の中で、全くなかったという児童が14.3ポイント増加した。

	みよし市教育委員会	愛知県教育委員会
①課題は実態を踏まえていたか	「主体的に授業に取り組む児童生徒」や「分かる授業づくり」を改善課題としたことは、適切であったと考える。	意識調査の結果も含め、客観的な実態を踏まえた上で課題設定されており、適切であったと考える。
②目標は課題に対して適切なものだったか	「学び合える」場面を意図的に設定した目標はおおむね適切だったと考える。	「みんなで何かをするのは楽しい」というプラス面の実態を土台に、課題を克服しようとしている目標設定は適切であったと考える。
③目標の達成につながる行動計画だったか	共通理解を図る場の設定が遅かった。6月30日の国立教育研究所学校訪問時に全教職員が集まるとよかった。	早々に授業研究会を開始し、すべての授業で取り組もうとしたことは適切であったと考えるが、全教職員で共通理解を図る場面の設定が少し遅かった。
④具体的な動きや目当てが共有されていたか	現時点では、各推進部会や情報交換の場が少なかつたことから、全教職員が具体的な動きやめあてを共有化できているとは言いがたいと考える。	
⑤児童生徒が主体的に取り組む工夫はあったか	児童生徒が主体的に取り組むための場は設定できたと考えるが、一層の工夫や仕掛けが必要と考える。	「ペア・グループ学習」に加えて、児童会・生徒会活動においても主体的に取り組む活動の設定の工夫等が必要であると考えます。
⑥想定外の指標はあったか	全項目で改善傾向にあるが、取組の成果であるかどうか分析が必要であると考えます。	全体的な傾向として、肯定的な回答（特に「当てはまる」）が増加する一方で、否定的な回答（特に「当てはまらない」）がそれほど減少していない。

実態把握

課題

目標

取組

点検

見直し

見直し1 9～12月に重点・強化する内容

(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容に基づきみよし市教育委員会が作成)

- 各小中学校の教職員が課題を共通理解して日々の指導にあたる。
- 「主体的に学ぶ姿」や「学習（生活）規律」の共通認識を図る。
- 全職員が他校の研究授業を積極的に参観するなど、「学び合い学習における」授業力をつける研修や協議会を実践する。
- 小学校3校の足並みをそろえる為に、情報交換の場を設定し積極的に行う。
- 本質的なねらいに迫る取組としては、「学び合いの授業」の質の向上を図る。
- 学習の基盤となる授業の開始終了のあいさつ、友達の意見を聞く態度をもっと育てるよう教職員が継続的に指導する。
- 「主体的な姿を」具体的に子どもたちに示す。
- 授業のはじめには学習のめあてを必ず黒板に書き、授業の終わりには必ず授業のまとめや振り返りを行う。子どもに発表させるか、ノートに書かせる。

見直し2 上記**1**を実効性あるものとするために縮小・統合・対象外とする内容
(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容を基にみよし市教育委員会が作成)

○各学校内の児童生徒会活動の中で自己有用感を高める活動を取り入れており、小学校と小学校の連携の取組において、3小学校の部活動を通じた交流(合同練習会)は小中連絡協議会で話し合った結果、縮小していくことになった。